

# 日刊建設工業新聞

## 建設放談 森田 実

題字は著者 (評論家・山梨大学名誉教授)



310

### 「君子以て経綸す」

「易経」

右記の「易経」の言葉は「すべからず政治指導者は、社会のために役立つことを心がけ、世の人々の幸せのために働かなければならない」という意味の格言です。二階俊博自民党総務会長は「経綸」を実行している政治家です。二階総務会長が提唱している「国土強靱化」と「闘う土地改良」は日本国民に幸福をもたらす「経綸」の政策だと思えます。

法に基づいて、農地の整備や農業用排水路、畑地かんがい施設、農道等の生産基盤の整備に加え、ため池整備等の防災対策

ました。昔は1兆8000億円 あった土地改良事業予算は、09(平成21)年度には6000億円弱にまで縮小されました。この時は自公連立の時でした。土地改良事業予算の劇的な大仕分けは09年総選挙で政権の座に就いた民主党政権によって強行されました。民主党は「コン

ました。 当目の目標は、土地改良事業予算5000億円超の実現、来るべき参院選で土地改良事業団体の候補者の当選、老朽化対策の推進、国際化などですが、二階総務会長の目指しているのは「土地改良事業によるオール日本の活性化」「明白に希望の持てる農業の実現」という遠大な目標です。土地改良事業によって日本を再生させようとしているのです。「国土強靱化」と

## 二階俊博総務会長が提唱する「国土強靱化」と「闘う土地改良」は日本再生の主要戦略である

「国土強靱化」は災害に強い国土をつくり、国民が安心安全な生活ができる強くしなやかな社会を築くことです。「国土強靱化」については本紙において繰り返し報道されてきましたので、ここでは、読者の皆さんにはまだなじみの薄い「闘う土地改良」について説明します。

「国土強靱化」は災害に強い国土をつくり、国民が安心安全な生活ができる強くしなやかな社会を築くことです。「国土強靱化」については本紙において繰り返し報道されてきましたので、ここでは、読者の皆さんにはまだなじみの薄い「闘う土地改良」について説明します。

クリートから人へのスローガンを掲げて政権をとり、公共事業の大幅削減に手をつけました。特に狙い打ちされたのが、土地改良事業でした。土地改良事業は存亡の危機に立たされた

しいものはないのです。人類は自然によって支配されている存在ですが、同時に自然を保全してきたのも人類です。この人類の自然を保全する努力の中心にあったのが土地改良事業なのです。

調査会(会長)が、全国土地改良事業団体連合会会長に選出されました。新会長が打ち出したのが「闘う土地改良」で農業の未来を整備する」との力強い新運動路線です。温厚な理性の政治家である二階総務会長が「闘

「闘う土地改良」は、地方創生の二つの柱です。この二つの計画は、少子高齢化による人口減少に歯止めをかけ、若い人たちが希望をもって生きることのできる日本社会を創り上げるための主要戦略なのです。二階総務会長は、1955年の三木武夫総務会長のような権力争いを超越した最高実力者であり、日本の最良リーダーの一人です。日本の政界のキーマンです。二階総務会長と共に進みましょう。(毎週火曜日掲載)

土地改良事業とは、土地改良

土地改良事業はかつては政府の農政の中心政策でした。しかし、近年新自由主義に立つ米

5820億円あった09(平成21)年度予算を、民主党政権は強引に仕分けして、10(平成22)

13(平成25)年度は新しい自公連立政権のもとで編成され、09(平成21)年度規模に回復し

改良事業関係者は熱く燃え始め

ました。 当目の目標は、土地改良事業予算5000億円超の実現、来るべき参院選で土地改良事業団体の候補者の当選、老朽化対策の推進、国際化などですが、二階総務会長の目指しているのは「土地改良事業によるオール日本の活性化」「明白に希望の持てる農業の実現」という遠大な目標です。土地改良事業によって日本を再生させようとしているのです。「国土強靱化」と